

授業科目 家族関係論

【担当教員名】 寺田 貴美代	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎		
【概要・一般目標：GI0】 少子高齢化が進展する中で、家族は大きく変化し、さまざまな課題を抱えている。そこで、現代家族の多様な様態や直面する諸問題について考察し、社会福祉との関わりから家族関係を理解する。また、この授業は1年生前期に位置づけられていることから、今後、より深く専門科目を学ぶための基礎となる思考や判断力を身につける。そして、福祉社会の動向に関心を持ち、現代社会における課題を認識する力を養う。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 現代家族の多様な様態や直面する諸問題について認識する 2. 社会福祉との関わりから家族関係を理解する 3. 家族に関する社会福祉の専門的な知識に根差した思考や判断力を身につける 4. 福祉社会の動向に関心を持ち、現代社会における家族の課題をとらえる				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、家族に関する基礎的理解（1）		1	講義
2	家族に関する基礎的理解（2）		1	講義
3	子どもと家族（1）		1～4	講義
4	子どもと家族（2）		1～4	講義
5	子どもと家族（3）		1～4	講義
6	夫婦と家族（1）		1～4	講義
7	夫婦と家族（2）		1～4	講義
8	夫婦と家族（3）		1～4	講義
9	障害者と家族（1）		1～4	講義
10	障害者と家族（2）		1～4	講義
11	高齢者と家族（1）		1～4	講義
12	高齢者と家族（2）		1～4	講義
13	高齢者と家族（3）		1～4	講義
14	家族の多様性		1～4	講義
15	まとめ		1～4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)		特に指定しない（プリントを配布する）。		
参考書		『新版 データで読む家族問題』	湯沢雅彦、宮本みち子	日本放送出版協会 1,070円
その他の資料		適宜、授業中に紹介する。なお、主な資料は図書館にあるため、積極的に閲覧してほしい。		
【評価方法】 レポート、課題提出状況、出席状況、授業態度等を総合的に評価する。		【履修上の留意点】 第1回目の授業にて講義の概要や受講方法を説明するため、履修希望者は必ず出席すること。		